



安心感・達成感を味わい、意欲的に学習に取り組む児童の育成

—通常学級における特別支援教育の視点を生かした授業実践—



特別研修員 特別支援教育 佐藤 愛 (小学校教諭)

りんごの実がなる
(目指す児童像)
↑
葉をつけ、大きく育つ
(児童の意欲向上)
↑
水をあげる (手立て)



《目指す児童像》

安心感・達成感を味わい、意欲的に学習に取り組む児童



授業実践 第3学年 算数「小数」

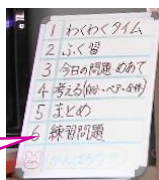
【手立て1】
分かりやすく
安心して学習するための
「視覚的支援」

安心感を
味わえるように

・学習の流れを示すボード

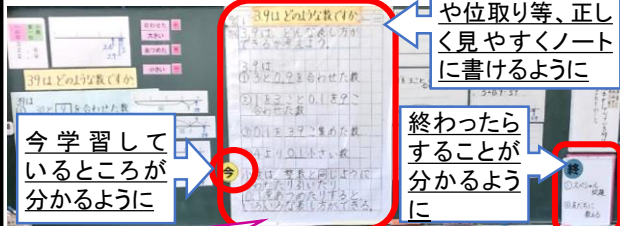
見通しをもつことができるように

次に何をするのが分かってよいな。😊



・「今」「終」マーク (黒板)
・拡大ノートホワイトボード

書き出しの位置
や位取り等、正しく
見やすくノート
に書けるように



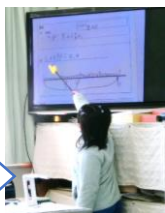
今学習して
いるところが
分かるように

終わったら
することが
分かるよう
に

どこに何を書くのが分かりやすいな。
小数点の位置も正しく書けたよ。😊

・「今」付箋
(児童が教科書の該当する部分に、付箋をはる)

・ICT端末での板書撮影
(ノートの隣に手本として置く)



・書画カメラ (考えを拡大提示)

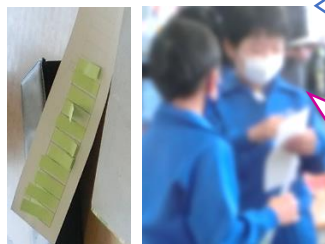
児童が書いた文字や数直線など、
細かいところがよく見えるように

達成感を
味わえるように

【手立て2】
達成感を味わい、
意欲的に学習するための
「参加促進の支援」

・わくわくタイム (導入)

導入から学習内容に
集中し、既習内容を
楽しく振り返ることが
できるように



小数ペーパー
じゃんけんをしたよ。
楽しいことをやると、
もつとがんばろうと
思えるな。😊

・手作りの自分専用指示棒

自分の考えや思い
を意欲的に説明、
発表ができるように



自分で作った指示棒を
また使いたい。
説明しやすいし、聞く側も
分かりやすいな。😊

・活動に変化をもたせる

どの子も「できた」という
達成感をより多く味わう
ことができるように



声に出して読む、挙手で考え
を示す、発表、ペア説明など
友達との交流、立つ・移動
するなどの簡単な動きを取り
入れて体を動かす など

児童の意欲向上

【児童の実態】

- ・何をするのが見通しがもてないと不安になる
- ・色々なことが気になり、学習に集中できない
- ・ノートなどに正しく書いたり、見やすく書き表したりすることが苦手
- ・言葉のみの指示では、理解するまでに時間がかかる

【教師の願い】

- ・見通しをもって安心して学習に取り組んでほしい
- ・集中して学習し、充実感と達成感を味わってほしい
- ・分かりにくさ、学びにくさを解消することで、意欲的に学習に取り組んでほしい
- ・どの子にも分かりやすい授業を心掛けたい



【○成果 ●課題】

- 「学習の流れを示すボード」「今・終マーク」の活用により、見通しをもち、落ち着いて学習することができた。
- 「拡大ノートホワイトボード」に書くことで、書き出しの位置や間隔をよく見て、正しく書くことができた。
- 「わくわくタイム」で意欲が高まるとともに、自分で作った「指示棒」を用いることで、説明に対して積極性が増した。
- 手立てを様々な教科に取り入れて実践することで、より安心感・達成感を味わい、意欲的に取り組めるようにする。
- どの子にも分かりやすい支援を心掛けるとともに、それぞれの支援の必要性を考え、より実態に合わせた支援を探る。
- 児童同士の関わり合いや話し合いを充実させ、さらに達成感を味わい、意欲的に学習することができるようにする。